

1300年の歴史を刻む古刹と滝と展望を楽しむ  
忘年山行(高山不動～関八州見晴台)

実施日 2018年12月15日(土)～16日(日)  
天候 曇り時々晴れ  
リーダー 白石 恵美子  
参加者 若村 貴世子、 涌井 良明、 山石 谷  
崎 富美恵、 白石 恵美子、 山石 谷  
附 智江、 (渋谷 賢寿)、 渋谷  
京子、 遠井 謙策、 徳山 敬子、  
[瀧澤 きよの]、 (宮崎 敏男)、  
佐藤 聡美、 阿部 一郎、 阿部  
みゆき、 木村 伸子 計15名  
( )15日のみ・[ ] 16日のみ

費用  
宿泊費 交通費 1,338円(池袋起算)  
12,700円  
タイム 12/16 休暇村奥武蔵(9:07-11:02)高山不動尊(11:12-11:25)関八州見晴台(11:53-12:46)高山不動尊(13:06-13:26)石地蔵(13:50-13:57)西吾野駅(15:00～04)

12/15 吾野駅から休暇村の送迎バスに乗り、5分程で休暇村に着く。

夕食はバイキング。たらふく食べて2次会の会場、Sさんの部屋に移動。

恒例のプレゼント交換は例年とはちょっと趣向を変えて、あみだ籤の線の下に参加者名を書き、自分のプレゼントを持ってあみだを引き、行き当った人にプレゼントを渡すことになった。そしてプレゼントを渡す前にそれぞれ、今年の漢字を発表するという趣向で盛り上がる。発表された漢字は、それぞれ、健、希、叶、願、病、看、安、歳などだ。そして、翌日の山行に備えて就寝。



12/16 予定のコースを逆回りに回る方がバスに乗らずにすむという事で、急遽、逆コースに変更する。日帰り参加のTさんも宿で合流。直帰組の人達に見送られて9時過ぎに宿を出発。風もなく穏やかなハイキング日和。国道を左の方に歩き出すと間もなく、右側に「高山不動」と書かれた標識が



あり、登り始める。大窪峠を過ぎ、車道を横断し、大窪集落、そして渡戸橋を渡り、瀬尾からの道に合流。その先で八徳からの道に合流。虚空蔵山を巻き、間もなく高山不動尊に着く。不動明王に、来年も元気で登れますようにと祈願後、本当はトイレのすぐ裏から登る道があったのだが、気づかず来た道を少し戻り、舗装の道を登ると車道に出、茶店(閉店中)の裏手に「関八州見晴台入口」と書かれた標識がある登山道に入る。

30分程で関八州見晴台(高山不動尊奥の院)に着く。名前の由来は武蔵、相模、下総、上総、安房、上野、下野、常陸の八州が見渡せたことに寄るようだ。雲の上に富士山が少しだけ頭をのぞかせている。武甲山、両神山、大持・小持山なども見える。

下りは往路を茶屋まで戻り、車道を少し右に行き、左の登山道に入り、高山不動尊に戻る。急な石の階段を降り、すっかり葉の落ちた大イチョウ(母乳の不足する女性が祈願すると乳の出がよくなったと謂れから「子育て銀杏」ともいわれる。推定樹齢800年)を眺め、「西吾野駅」という道標に従い右へ。不動三滝への道を分け、石地蔵からパノラマコースを西吾野駅方面へ下る。

石がゴロゴロして少々歩きづらい。萩の平茶屋へ下る方が歩きやすいかも。橋を渡り、左に進み、また左折して少し坂を上り、今日のゴールの西吾野駅に着く。参加された皆さん、お疲れ様でした。また、一緒に歩けたら嬉しいですよ。よろしくお願ひします。



00年)を眺め、「西吾野駅」という道標に従い右へ。不動三滝への道を分け、石地蔵からパノラマコースを西吾野駅方面へ下る。

石がゴロゴロして少々歩きづらい。萩の平茶屋へ下る方が歩きやすいかも。橋を渡り、左に進み、また左折して少し坂を上り、今日のゴールの西吾野駅に着く。参加された皆さん、お疲れ様でした。また、一緒に歩けたら嬉しいですよ。よろしくお願ひします。

(記・白石恵美子)

(写真提供・涌井 良明)

